



Toro® Workman® シャーシマウント キット

プロパス 200トップドレッサ

モデル番号 44707

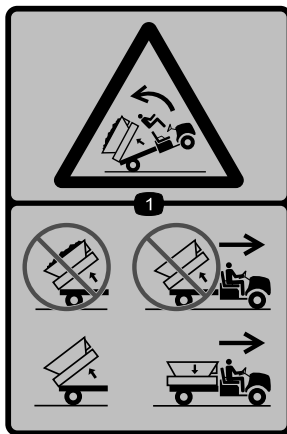
取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal119-6840

119-6840

1. 転倒して制御不能になる危険 資材を入れた状態でホッパーを上昇させないこと ホッパーを上昇させたままで車両を走行させないこと。ホッパーが空のとき以外はホッパーを上昇させないこと 車両を走行させるときには必ずホッパーを一番下の位置まで降下させること。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	—	荷台を取り外す。
3	後クロス部材 ブレース・チューブ フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ " マウントのスペーサ フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " 中央クロス部材 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ x 2"	1 2 4 2 8 4	後部と中央のクロス部材を組み立てます。
4	リンチピン ワッシャ1 $\frac{5}{8}$ x $\frac{3}{4}$ " ヒッチピン	2 6 2	クロス部材を車両に取り付けます。
5	キャップスクリュー5/16 x 3" フランジロックナット5/16" ワッシャ5/16" キャップスクリュー5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ "	6 12 12 6	車両にトップドレッサを取り付けます。
6	高圧側油圧ホース 戻り側油圧ホース キャップスクリュー $\frac{1}{4}$ x 2 $\frac{3}{4}$ " ワッシャ $\frac{1}{4}$ " クランププレート 半割れチューブクランプ フランジロックナット $\frac{1}{4}$ " ケーブルタイ	1 1 3 3 3 6 3 2	油圧ホースを取り付けます。
7	必要なパーツはありません。	—	トップドレッサのワイヤハーネスとオプション機器を取り付けます。
8	左側シールド 右側シールド フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ " フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "	1 1 10 6	サイドシールドを取り付けます。
9	必要なパーツはありません。	—	油圧ホースを車両に接続します。
10	必要なパーツはありません。	—	シャーシ取り付けキットの取り付け作業を完成させます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

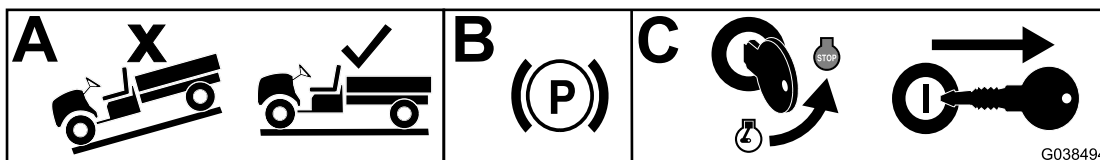


図 1

g038494

2

荷台を取り外す

必要なパーツはありません。

手順

Toro ワークマン車両から荷台を外すワークマンのオペレーターズマニュアルを参照。

注 シリンダピンはこのキットの取り付けに使用しますから捨てないでください。

3

後部と中央のクロス部材を組み立てる

この作業に必要なパーツ

1	後クロス部材
2	ブレース・チューブ
4	フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ "
2	マウントのスペーサ
8	フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "
	中央クロス部材
4	フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ x 2"

手順

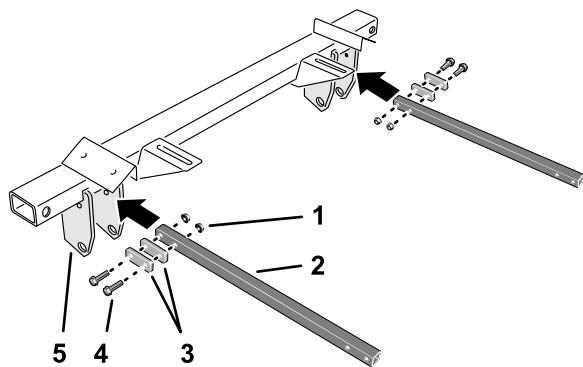
1. 図 2 のように、後クロス部材にチューブブレースを仮止めするスペーサ 2 個、フランジヘッドボルトキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ x 2 $\frac{1}{2}$ " 2 本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " 2 個を使用する。

4

クロス部材を車両に取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	リンチピン
6	ワッシャ 1 $\frac{1}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ "
2	ヒッチピン

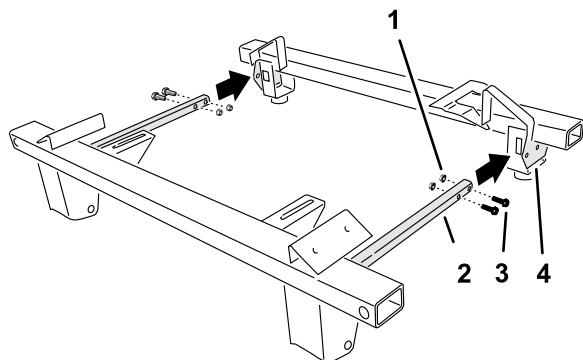


g288047

図 2

1. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "
2. チューブブレース
3. スペーサ
4. フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ " x 2 $\frac{1}{2}$ "
5. ヒンジブラケット後クロス部材

2. 後クロス部材のもう一方の端部にチューブブレースを仮止めする 図 2 スペーサ2個、フランジヘッドボルトキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ " x 2 $\frac{1}{2}$ "2本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "2個を使用する。
3. ブレースチューブ2本他端部を、中央クロス部材の内側シリンダプレートに仮止めする 図 3 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ " x 2"4本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "4個を使用する。



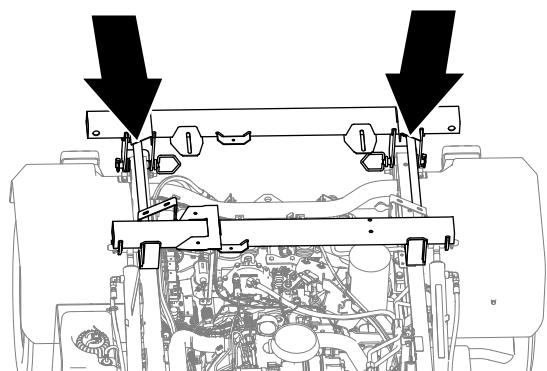
g288046

図 3

1. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "
2. ブレース・チューブ
3. フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8}$ " x 2"
4. シリンダプレート中央クロス部材

後部と中央のクロス部材を組み立てる

1. 車体のフレームレールの上に、後部中央クロス部材アセンブリを吊り上げる。
2. 後クロス部材のピボットブラケットの穴を、車両のフレームレールの荷台ピボットチューブに合わせ、リンチピン2本をブラケットとチューブに途中まで通す 図 4。



g288148

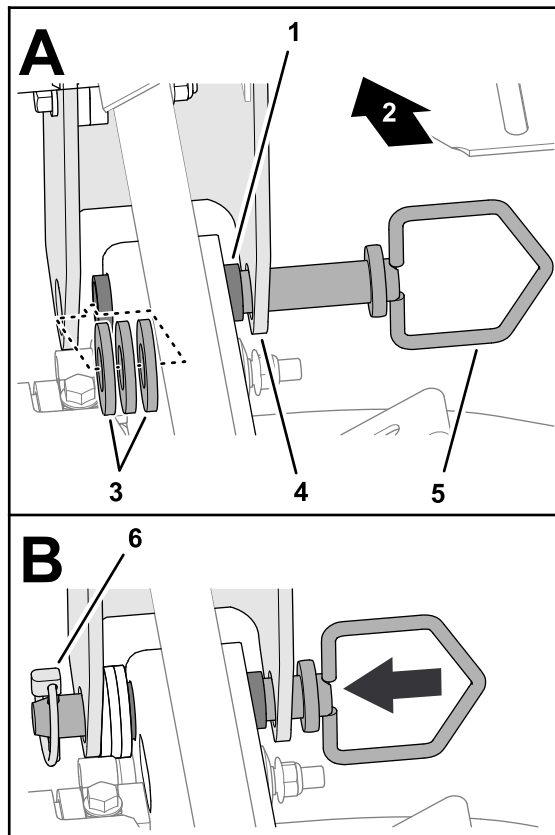


図 4

g288149

1. 荷台ピボットチューブ
2. 機体後方
3. ワッシャ1 $\frac{1}{8}$ x $\frac{3}{4}$ "
4. ピボットブラケット
5. リンチピン
6. ヒッチピン

3. ピボットブラケットと荷台のピボットチューブとの間には、必要に応じてワッシャ1 $\frac{1}{8}$ x $\frac{3}{4}$ "を挿入して、後クロス部材がフレームレールの中心線上にくるようにする 図 4。

4. リンチピン2本を外側に引っ張って、それぞれをヒッチピンで固定する 図 4。

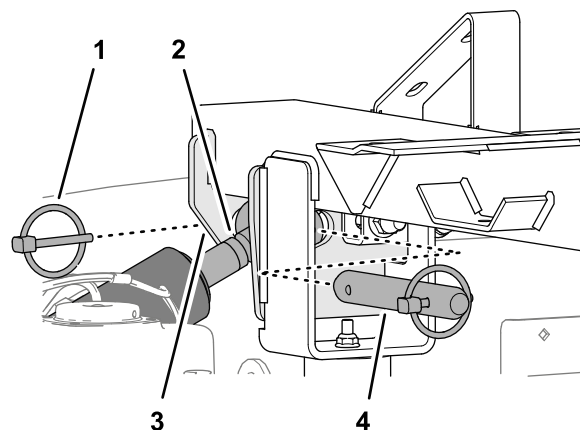
重要 中央クロス部材と車体の後フェンダおよびオイルフィルタアセンブリとの間にすきまがあることを確認する。

5. 左右の昇降シリンダのロッドを、中央クロス部材のシリンダプレートに取り付ける 図 5 荷台を取

り外した時に回収したクレビスピンとリンチピンを使用する。

注 クレビスピンを取り付ける時、リンチピンが4本とも完全に貫通してラッチされていることを確認してください。

注 場合により、油圧昇降シリンダを前後に移動させてシリンダプレートの穴に整列させる必要があります。

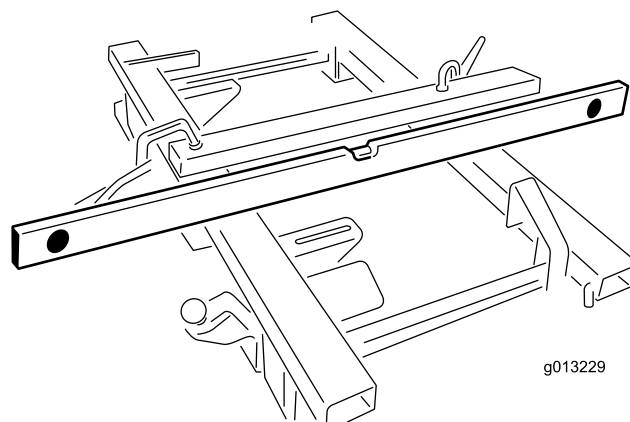


g288169

図 5

1. リンチピン
2. ロッド昇降シリンダ
3. シリンダプレート中央クロス部材
4. クレビスピン

6. 中央クロス部材が後クロス部材と直角になっていることを確認する。
7. 中央クロス部材、後クロス部材それぞれの上部が共に同じ高さになっていることを確認する 図 6。



g013229

g013229

図 6

8. ブレースチューブを中央および後クロス部材に固定しているフランジヘッドキャップスクリュ8本、フランジヘッドロックナット8本を37-45 N·m 3.8-45 kg.m = 27-33 ft-lbにトルク締めする。

9. 中央クロス部材と後クロス部材がフレームに対して直角かつ互いに平行であることを確認する。

前クロス部材を車両に整列させる

1. 前クロス部材用の L 字ブラケット2個を車両前方の部位に配置する [図 7](#)。

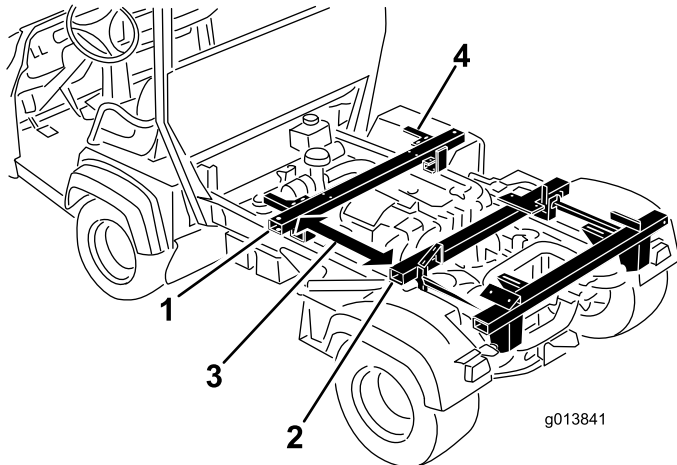


図 7

1. 前クロス部材
2. 中央クロス部材
3. 76 cm
4. L 字ブラケット

2. 中央クロス部材から 76 cm 前方の位置に、前クロス部材を配置する [図 7](#)。

5

車両にトップドレッサを取り付ける

この作業に必要なパーツ

6	キャップスクリュー 5/16 x 3"
12	フランジロックナット 5/16"
12	ワッシャー 5/16"
6	キャップスクリュー 5/16 x 1 1/4"

中央クロス部材にトップドレッサを取り付ける

⚠ 警告

ワークマンのシャーシに組み付けた状態のトップドレッサとホッパーを吊り上げないこと。吊り上げブラケットは車両全体の重量に耐えられない。

吊り上げ装置に必要な能力: 413 kg

1. トップドレッサのホッパーの内側についているつり上げ用のブラケットに吊り上げ装置を接続する [図 8](#)。

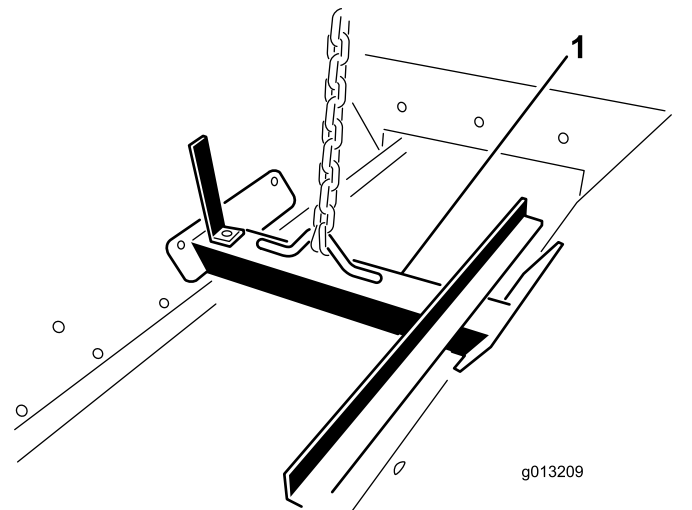


図 8

1. 吊り上げ用ブラケット

2. トップドレッサを吊り上げ、その下に車両をバックで入れる。

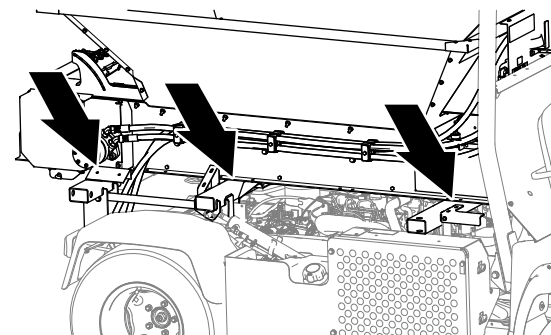
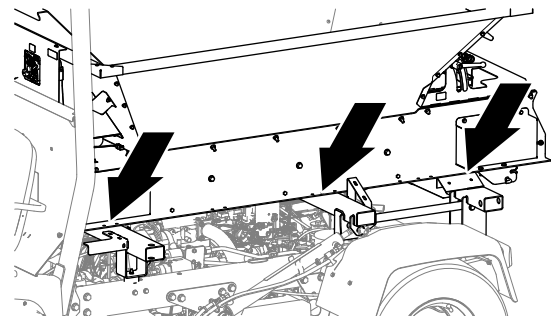


図 9

3. トップドレッサを車両の上に注意深く降ろすトップドレッサの左側レールについている穴リンスガードから 107.6 cm および 112.7 cm の位置にある穴を、中央クロス部材の穴に合わせる [図 10](#)と[図 11](#)。

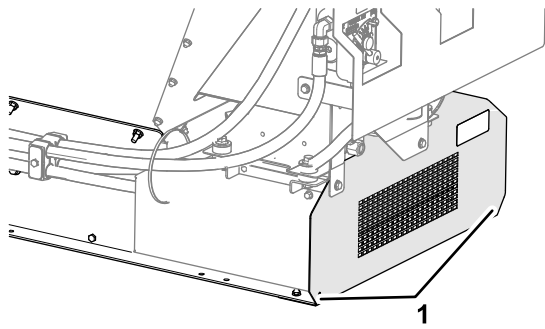


図 10

g288380

1. リンスガードの測定ポイント

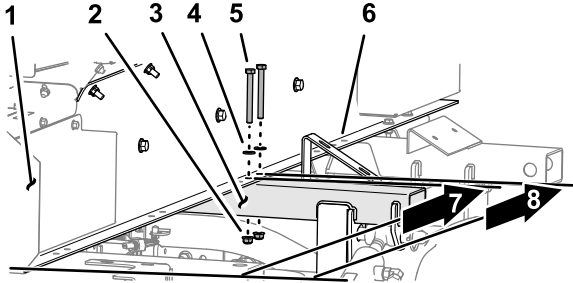


図 11

左側

g288374

1. すすぎガード
 2. フランジロックナット5/16"
 3. 中央クロス部材
 4. ワッシャ5/16"
 5. キャップスクリュ5/16 x 3"
 6. 左側レールトップドレスサ
 7. 107.6 cm を測る
 8. 112.7 cm を測る
4. レールを、中央クロス部材の左側に仮止めする図 11 キャップスクリュ5/16 x 3" 2本、ワッシャ5/16" 2枚、フランジロックナット5/16"を使用する。
 5. トップドレスサ右の右側レールで、リンスガードからレールの穴に向かって 103.7 cm と 116.7 cm の位置を決める図 12。

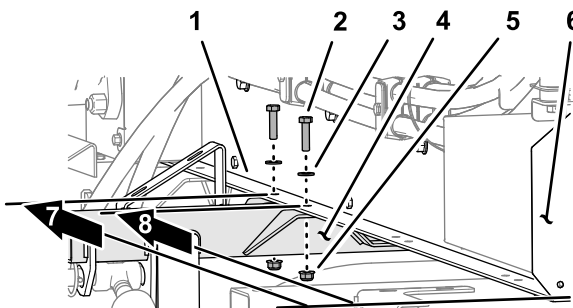


図 12

右側

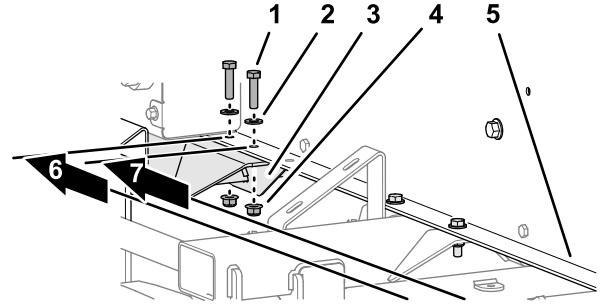
g288375

1. 右側レールトップドレスサ
2. キャップスクリュ5/16 x 1 1/4"
3. ワッシャ5/16"
4. 中央クロス部材
5. フランジロックナット5/16"
6. すすぎガード
7. 116.7 cm を測る
8. 103.7 cm を測る

6. レールを、中央クロス部材のマウントプレートに仮止めする図 12 キャップスクリュ5/16 x 1 1/4"、ワッシャ5/16" 2枚、フランジロックナット5/16"を使用する。

後クロス部材にトップドレスサを取り付ける

1. リンスガードからレールの穴に向かって 146.5 cm と 151.6 cm の位置を決める図 13。



g288377

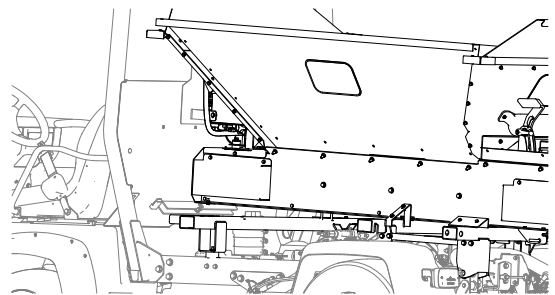
図 13

図は右側左側もほぼ同様である

1. キャップスクリュ5/16 x 1 1/4"
 2. ワッシャ5/16"
 3. スロット付きブラケット後ク
 4. フランジロックナット5/16"
 5. 右側レールトップドレスサ
 6. 151.6 cm を測る
 7. 146.5 cm を測る
2. レールを、後クロス部材のスロット付きブラケットに組み付ける図 10と図 13 キャップスクリュ5/16 x 1 1/4" 2本、ワッシャ5/16" 2枚、フランジロックナット5/16"を使用する。
 3. 機体の反対側の後クロス部材にも、ステップ 1 と 2 の作業を行う。
 4. 中央と後部のクロス部材のキャップスクリュ 8 本とフランジロックナット 8 個を 19.78-25.42 N·m 2.0-2.5 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする

前クロス部材にトップドレスサを取り付ける

1. 車両の荷台昇降シリンダを使ってトップドレスサを 51 mm だけ浮かせる。



g288376

図 14

- 前クロス部材を持ち上げてトップドレッサのレールに当てて、レールに固定する [図 15](#) キャップスクリュ5/16 x 3"2本、ワッシャ5/16"2枚、フランジロックナット5/16"2個を使用する。

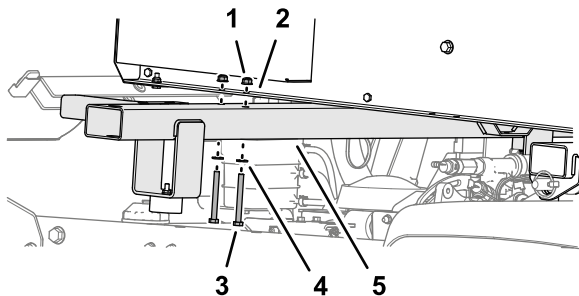


図 15

g288429

- フランジロックナット5/16"
- 左側レールトップドレッサ
- キャップスクリュ5/16 x 3"
- ワッシャ5/16"
- 前クロス部材

- 機体の反対側の前クロス部材にも、ステップ2の作業を行う。
- 前クロス部材のキャップスクリュとフランジロックナットを 19.78-25.42 N·m2.0-2.5 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする

6

油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	高圧側油圧ホース
1	戻り側油圧ホース
3	キャップスクリュ $\frac{1}{4}$ x 2 $\frac{3}{4}$ "
3	ワッシャ $\frac{1}{4}$ "
3	クランププレート
6	半割れチューブクランプ
3	フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "
2	ケーブルタイ

トップドレッサを上昇させる

- 昇降シリンダが完全に伸びきるまでトップドレッサを上昇させる [図 16](#)。

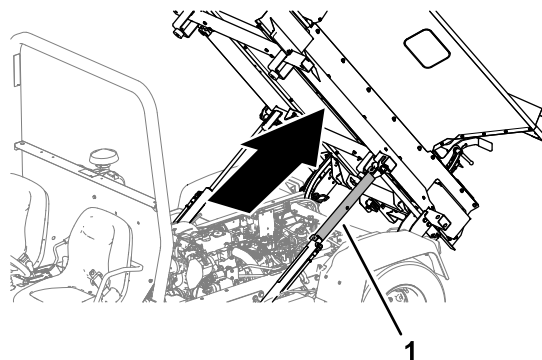


図 16

g288548

- 安全サポート

- 荷台サポート [図 16](#) をシリンダロッドに取り付ける車両のオペレーターズマニュアルを参照。

トップドレッサの油圧ガードを取り除く モデル 44701

- トップドレッサのバルブマウントに油圧ガードを固定しているキャップスクリュ2本とワッシャ2枚を外す [図 17](#)。

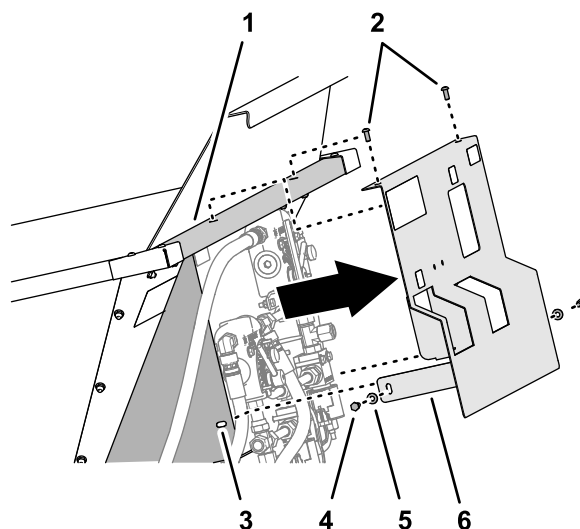


図 17

g288547

- ホッパー前壁
- ボタンヘッドねじ
- バルブマウント
- キャップスクリュ
- ワッシャ
- 油圧ガード

- ホッパーの前壁に油圧ガードを固定しているボタンヘッドねじ2本を外してガードを外す [図 17](#)。

ホースをコントロールバルブのフィッティングに接続する

モデル 44701

- [図 18](#) のように、バルブマウントのところで、T字フィッティングとクロスユニオンフィッティングのキャップを外す。

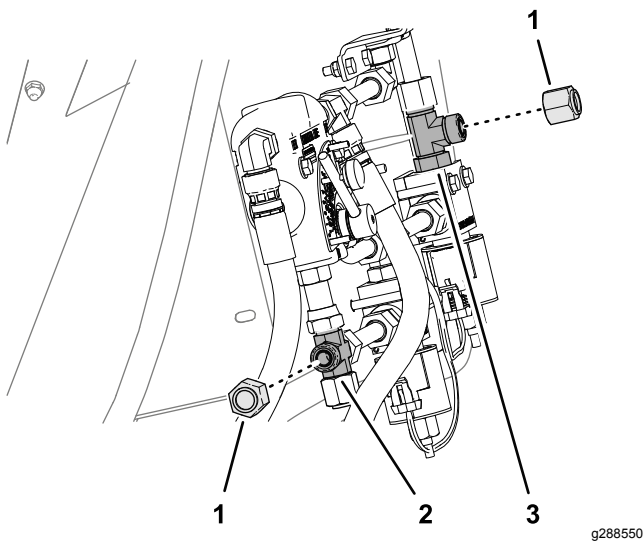


図 18

1. キャップ
2. クロスユニオンフィッティング
3. T 字フィッティング

2. 戻りホース矢印デカルが貼り付けてあるの 90° フィッティングを、T 字フィッティングに取り付ける 図 19。

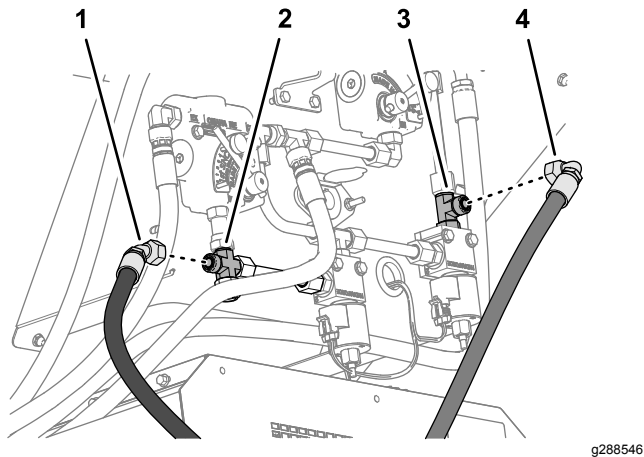


図 19

1. 45° フィッティング圧力側油圧ホース
2. クロスユニオンフィッティング
3. T 字フィッティング
4. 90° フィッティング戻り側油圧ホース

3. 圧力側油圧ホースの 45° フィッティングを、クロスユニオンフィッティングに仮止めする 図 19。
4. 各ホースをトップドレッサの右前角部に導く。

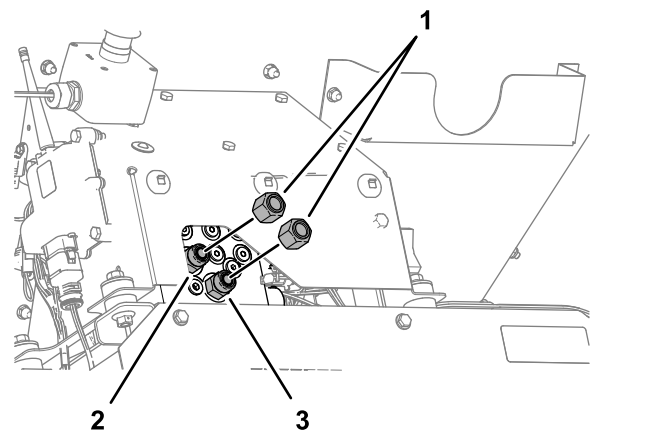


図 20

1. キャップ
2. ユニオンフィッティング油圧マニホルドポートT
3. ユニオンフィッティング油圧マニホルドポートP

2. 圧力側油圧ホースの 45° フィッティングを、ポート P のユニオンフィッティングに仮止めする 図 21。

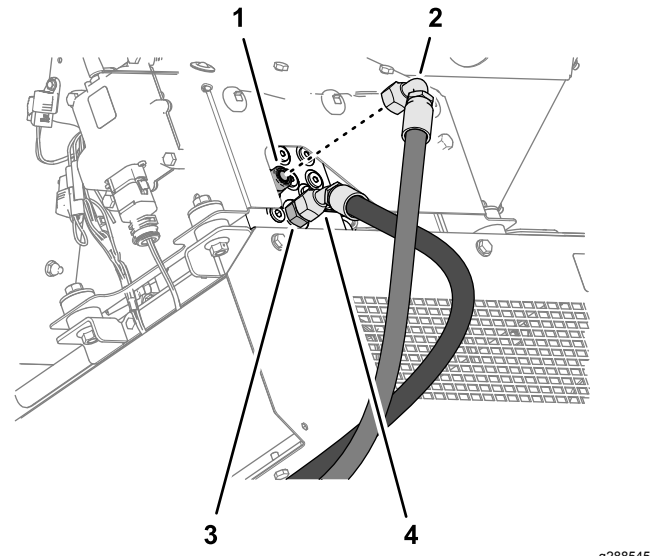


図 21

1. ユニオンフィッティング油圧マニホルドポートT
2. 90° フィッティング戻り側油圧ホース
3. ユニオンフィッティング油圧マニホルドポートP
4. 45° フィッティング圧力側油圧ホース

3. 戻り側油圧ホース矢印デカルが貼り付けてあるの 90° フィッティングを、油圧マニホルドのポート T に取り付ける 図 21。

ホースを油圧マニホルドに接続する

モデル 44751

1. 油圧マニホルドのポート T とポート P のユニオンフィッティングについているキャップを外す 図 20。

油圧ホースの敷設を行う

1. 油圧ホース高圧側と戻り側を、トップドレッサの右側フレームに沿って 図 22 のように配設する。

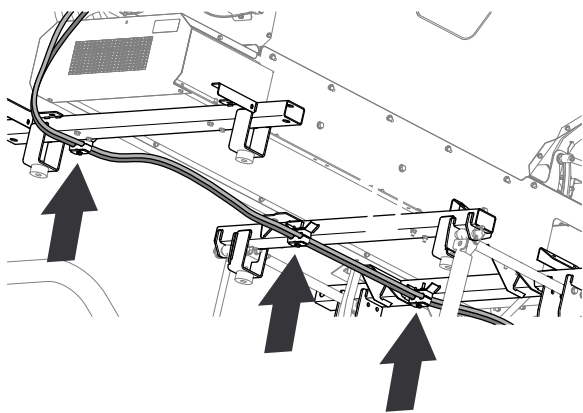


図 22

g288599

2. 中央と後クロス部材にある3つのホース取り付けブラケット 図 22 と 図 23 に各ホースを仮止めするキャップスクリュー $\frac{1}{4} \times 2\frac{3}{4}$ " 3本、ワッシャ $\frac{1}{4}$ "、クランププレート3枚、チューブクランプ半割6個、フランジロックナット $\frac{1}{4}$ " 3個を使用する。

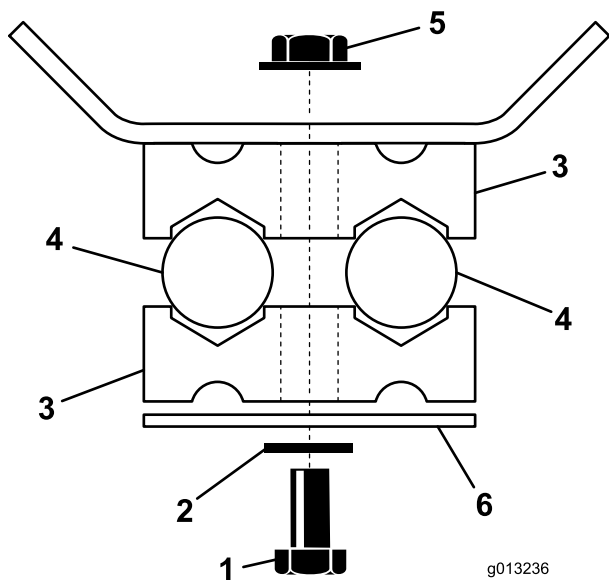


図 23

g013236

g013236

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. キャップスクリュー $\frac{1}{2} \times 4\frac{3}{4}$ " | 4. 油圧ホース |
| 2. ワッシャ $\frac{1}{4}$ " | 5. フランジロックナット $\frac{1}{4}$ " |
| 3. 半割れチューブクランプ | 6. クランププレート |

3. 前と中央のクロス部材の間に、油圧ホースを右フレームレールに沿わせる 図 24。

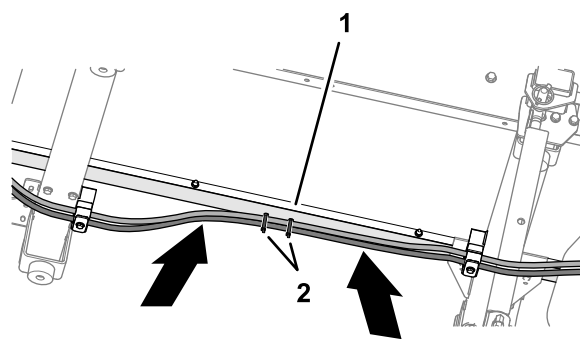


図 24

g288598

1. 右側フレームレールトップ
ドレッサ
2. ケーブルタイ

4. ケーブルタイ2本を使用してフレームレールの穴にホースを固定する 図 24。ホースを取り付ける時、ホースに適当な張りができるようにすること。

注 各ホースが上に曲がってワークマンのエンジンをかわすように、余分なたるみを取り除いてください。

5. チューブクランプ半割同士を連結しているキャップスクリュー3本とロックナット3個を本締めする 図 23。
6. 戻り川油圧ホースの 90° フィッティングと圧力側油圧ホースの 45° フィッティングを本締めする 図 19 または 図 21 を参照。

トップドレッサの油圧ガードを取り付ける

モデル 44701

1. 油圧ガードの穴を、バルブブランドマウントの穴とホッパーの前壁の穴に合わせる 図 25。

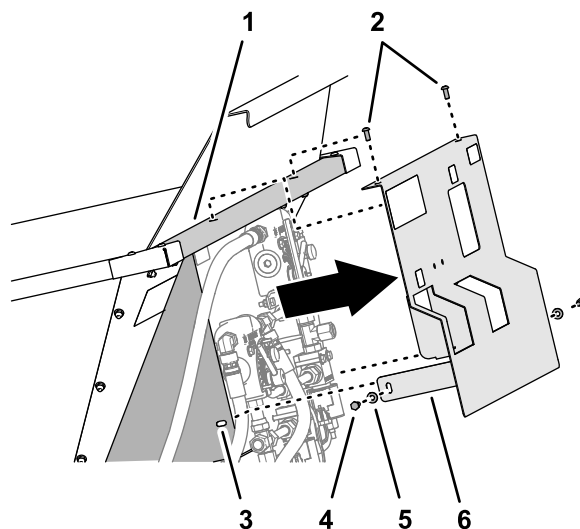


図 25

g288547

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. ホッパー前壁 | 4. キャップスクリュー |
| 2. ボタンヘッドねじ | 5. ワッシャ |
| 3. バルブマウント | 6. 油圧ガード |

2. 油圧ガードをホッパーの壁に固定する [図 25 トップドレッサの油圧ガードを取り除く \(ページ 8\)](#) で取り外したボタンヘッドねじ 2 本を使用する。
3. 油圧ガードをバルブマウントに固定する [トップドレッサの油圧ガードを取り除く \(ページ 8\)](#) で取り外したキャップスクリュー 2 本を使用する。
1. トップドレッサのバルブマウントに油圧ガードを固定しているキャップスクリュー 2 本とワッシャ 2 枚を外す [図 17](#)。
2. ホッパーの前壁に油圧ガードを固定しているボタンヘッドねじ 2 本を外してガードを外す [図 17](#)。

7

トップドレッサのワイヤハーネスとオプション機器を取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

重要 油圧ホースや電気ラインを通すときには、機械の高温部、鋭利な部分、可動部分を確実に避け、また、ホースやワイヤハーネスに無理な力が掛からないように注意してください。場合によっては、前部のバルクヘッドで油圧ホースをゆるめる、位置を調整するなどの作業が必要になります。

1. トップドレッサの電装ハーネスの配設と接続を行うトップドレッサのオペレーターズマニュアルを参照。

注 電気系統の接続をワークマンのバッテリーの近くで行っている場合には、トップドレッサから引いてきた電源コードを車両後部のピボット部に引き、そこから前方に送ってバッテリーまで到達させるようにしてください。

注 電気配線の接続を牽引車両の後部で行っている場合には、コード類をトップドレッサの油圧ホースに縛り付けておくと便利です。

2. オプション機器を取り付け、油圧ホースをトップドレッサに接続する各オプション機器の [取り付け要領書](#) を参照。

注 ワークマンの後部に取り付けられている油圧ホースがオプション機器と接触しないように注意してください。

8

サイドシールドを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左側シールド
1	右側シールド
10	フランジヘッドキャップスクリュー ¼ x ¾"
6	フランジロックナット ¼"

手順

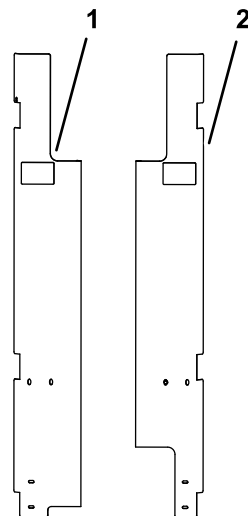


図 26

g288618

1. 左側シールド
2. 右側シールド

1. 各サイドシールドのスロットを、中央およびの日クロス部材のサイドシールドサポート2個のスロットおよび前クロス部材の L 字ブラケットに合わせる [図 27](#)。

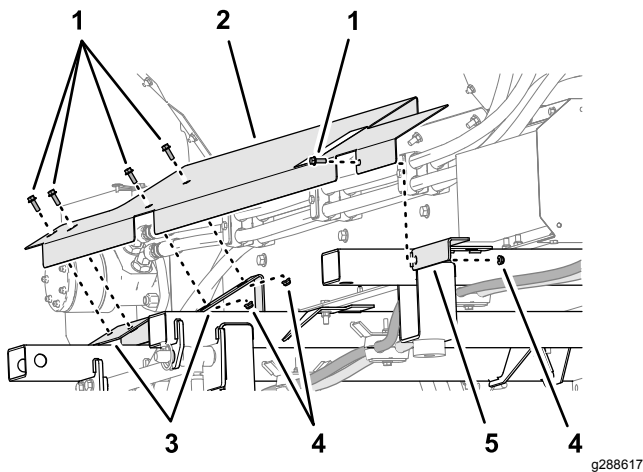


図 27
図は右側シールド

1. フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "
2. サイドシールド
3. シールドサポート中央および後クロス部材
4. フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "
5. L 字ブラケット前クロス部材

2. サイドシールドを中央クロス部材のシールドサポートに取り付ける 図 27 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " とフランジロックナット $\frac{1}{4}$ " を使用する。
3. サイドシールドを前クロス部材の L 字ブラケットに取り付ける 図 27 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " とフランジロックナット $\frac{1}{4}$ " を使用する。
4. サイドシールドを後クロス部材のシールドサポートに取り付ける 図 27 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本を使用する。
5. キャップスクリューとロックナットを 10.17-12.43 N・m 1.0-1.2 kg・m = 90-110 in-lb にトルク締めする。
6. 機体の反対側のサイドシールドについても、ステップ 1-5 の作業を行う。

9

油圧ホースを車両に接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 車両の荷台昇降シリンダから安全サポートを取り外してサポートを収納する。
2. トップドレッサを車両のシャーシに降下させる
3. 戻り側油圧ホースのクイックディスコネクティング矢印デカルのついているホースを、車両の上側クイックディスコネクティングに接続する 図 28。

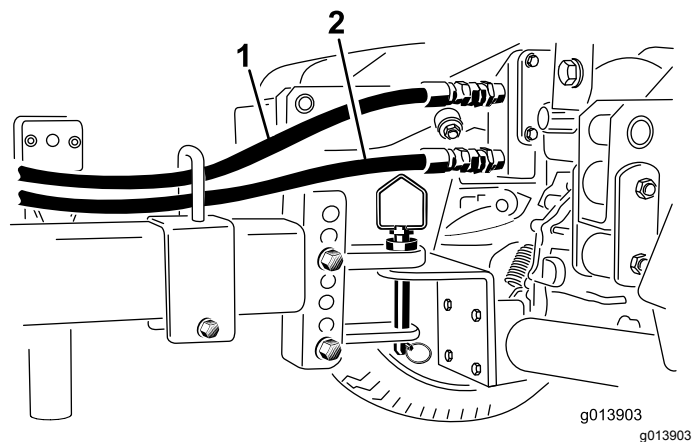


図 28

1. 戻り側ホース
2. 高圧側ホース

4. 圧力側のクイックディスコネクティングを、車両の下側クイックディスコネクティングに接続する 図 28。

10

シャーシ取り付けキットの取り付け作業を完成させる

必要なパーツはありません。

手順

1. 昇降用ブラケットをホッパーの壁に固定しているボタンヘッドねじ 4 本を外す 図 29。

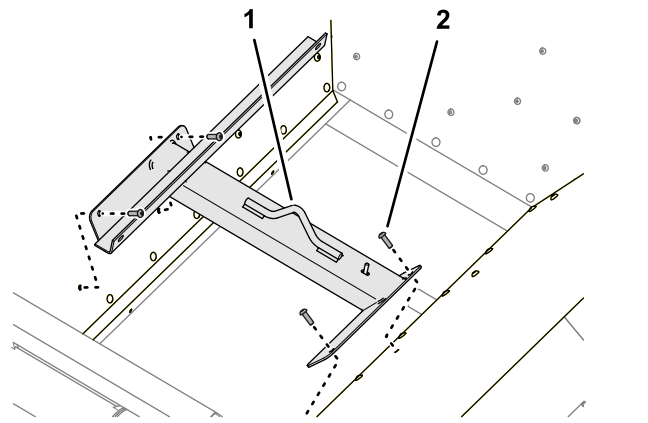


図 29

1. 吊り上げ用ブラケット
2. ボタンヘッドねじ
2. ボタンヘッドねじをホッパーの壁に取り付けて締め付ける 図 29。
3. モデル 44701 の場合 ON/OFF ペンダントをトップドレッサに接続し、ペンダントを座席近くに置く。

メモ

メモ

メモ



Count on it.